

吾妻山小凹湿原の植生回復事業に参加しました

～ 置賜森林管理署 ～

日 時：令和7年9月23日

場 所：吾妻山小凹湿原、弥兵衛平（国有林217、219林班）

米沢市の市民団体「ネイチャーフロント米沢」様が行っている吾妻連峰の山地湿原保護を目的とした植生回復事業に参加しました。今回はネイチャーフロント米沢様から6名、当署から9名での作業となりました。

小凹湿原内の裸地化した箇所では、山地湿原を形成している重要な泥炭がむき出しとなっていることから、その流失を防ぐため令和7年8月23日の植生回復事業で採取したミカヅキグサやヌマガヤ等の湿原の先駆種や優占種の種を播き、種子の流出と乾燥を防ぐため植生ネットで覆い、更に春先の凍上防止のためコモをかぶせる作業を行いました。

作業終了後は小凹湿原と弥兵衛平において、過去に植生回復事業を行った箇所の確認も行いました。播種から年を重ねるごとに植物が増えている様子が確認でき、今後も継続した植生回復事業の必要性を感じることができました。

置賜森林管理署では、生物多様性と国土強靱化に配慮した持続可能な森林管理を進めており、今後もこうした取組に積極的に参加しつつ、適正な森林整備の推進に努めてまいります。

置賜森林管理署：総務担当



播種作業の様子



1年前播種（上）と2年前播種（下）